

# 社会課題解決のための エコシステム形成に向けて

副代表幹事  
Japan 2.0検討PT 委員長  
先進技術による新事業創造委員会 委員長

**程 近智**

アクセンチュア  
取締役相談役



日本は経済的な先進国であると同時に、少子高齢化や人口減少、国内市場の縮小、社会保障費の増大などに直面している課題先進国でもある。社会課題の規模拡大、多様化・複雑化が急速に進む中、社会的課題に事業として取り組むソーシャルセクターの存在感が高まってきている。

とはいえ、日本におけるソーシャルセクターの活動はまだ発展段階といえる。よりソーシャルビジネスが発展している英国では、その市場規模は5兆7,000億円程度である一方、日本では2,400億円程度との試算もある\*。ソーシャルセクターは、企業ではビジネスとして成立させにくい、また国や自治体ではすくい上げられにくいなど、民間企業や公的機関では対処しきれない社会的課題に取り組んでいる。

こうしたソーシャルセクターなどに対して、金融機関で10年以上放置された預金を助成・出資し公益活動に充てる「休眠預金等活用法」が2018年1月1日に施行された。2019年秋ごろから、実際の助成・貸付が開始される見込みだ。現在、内閣府下の「休眠預金等活用審議会」にて、海外事例からも学びを得つつ、日本型の社会課題解決の仕組みを構築するべく議論がなされている。

日本型の仕組み構築に際し最も重要なことは、国や自治体、ソーシャルセクターや民間企業、国民など多様なプレーヤーを結び付け、社会課題解決のエコシステム(生態系)を

形成することだ。エコシステム形成にはアイデアや資金はもちろん、人材の確保が不可欠である。その際、多様なバックグラウンドを持つ個人がかかわり、循環する流れを作ることが重要と考える。そうすることで、複雑化・多様化する社会課題解決に向けたイノベーションも生まれるであろう。

国連で採択されたSDGs (Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標) では、民間企業が主要な実施主体の一つとして位置付けられている。また近年ではESG (環境・社会・ガバナンス) 投資の動きも広がりつつあり、社会課題解決の文脈での民間企業への期待も高まっている。

このような背景も踏まえ、企業の経営者の皆さんには、社会課題解決のためのエコシステム形成への貢献をぜひお願いしたい。自社のCSR (企業の社会的責任) やCSV (共通価値の創造) 活動の戦略を点検し、具体的には、ソーシャルセクターへの人材の派遣・交流、自社技術・能力の提供、そしてソーシャルビジネスの担い手となる人材と資金のマッチング支援などのアクションを積極化していただきたい。

休眠預金活用の枠組みでも、休眠預金が呼び水となり、民間企業から人材や資金が流入することで社会的投資市場が成長していくことが期待されている。企業としては、単なる社会貢献・寄付の域を出て、企業を取り巻く社会に対する投資という位置付けで貢献をしていくべきではないか。

\* 出典: 経済産業省「ソーシャルビジネスWG報告～ソーシャルビジネスの現状と課題～」 <http://www.meti.go.jp/committee/materials2/downloadfiles/g90417a06j.pdf>

No.804  
December 2017, January 2018  
**経済同友会 12.1**

**Close-up 提言**

- イノベーション・エコシステム委員会【提言】  
野路 國夫 委員長  
**産学連携を推進し  
イノベーション・エコシステムの構築を** 12
- 新産業革命と規制・法制改革委員会【提言】  
間下 直晃 委員長  
**自己責任でチャレンジでき  
イノベーションが生まれる環境の実現を** 14

**Doyukai Report**

- 産業教育振興中央会・経済同友会共催  
**専門高校生徒の研究文・作文コンクール  
受賞作が決定** 16
- 2017年度 全国経済同友会  
**代表幹事円卓会議—熊本市で開催** 18
- 第43回日本・ASEAN経営者会議(AJBM)  
**ツーリズムが成功のキーワード  
ASEANと日本の経済戦略を討議** 20
- 経済同友会「**パラスポーツ運動会**」を開催 22

**Column**

- 巻頭言** 程 近智  
「社会課題解決のためのエコシステム形成に向けて」 02
- リレートーク** 松田 憲幸  
「シリコンバレーへの移住で分かったこと」 11
- メールボックス** 酒井 智史  
「東日本大震災からの復興に向けて」 24
- 私の思い出写真館** 長谷川 閑史  
「頑張れ東北…へのささやかな貢献」 27

- 2018年度 副代表幹事  
推薦候補者の内定について** 10
- 新入会員紹介** 25
- ラトビア首相一行と経済協力について意見交換** 25
- 第31回 全国経済同友会セミナーのお知らせ** 26

今月の表紙: シリーズ世界の花  
【福寿草】  
北海道から本州の山野を原産地とし、2~4月頃に開花する、春を代表する花です。「福を招く」との花言葉もあり、江戸時代から多くの園芸品種が親しまれています。

C O N T E N T S

- 2018年 代表幹事 年頭見解  
**未来に向かって克ち抜く  
強い意志を** 03
- 特集**
- 経済三団体 新年祝賀パーティー  
合同記者会見** 06